

映画 「日本と原発」

製作・監督：河合弘之 構成・監修：海渡雄一 制作協力：木村結 音楽：新垣隆
脚本・編集・監督補：抒身風太郎 制作：Kプロジェクト

■お話をうかがった方々：
青木秀樹 アナトリー・チュマク 飯田哲也 エフゲーニヤ・ステパンノワ
大島堅一 川口登 小出裕章 コンスタンティン・ロガノフスキイ
古賀明 鈴木大介 高野仁久 田中三彦 馬場有(敬称略)

*この映画は、原発についての報道・広報に対する批判的検討をも目的としています。

写真：浪江町／2014.09月撮影 ©Kプロジェクト

**これ1本で原発を取り巻くすべての問題を提起します。
映画ご鑑賞後、ご自身でご判断ください。**

有名企業を取り巻く多くの裁判で勝ち続け
辣腕弁護士と呼ばれた河合弘之。

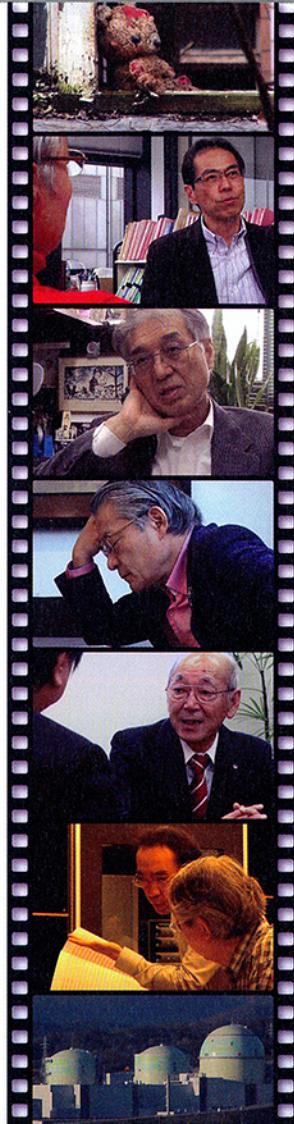
しかし、河合の人生後半戦の一大事業と位置付けた原発訴訟は、負け続けだった。

何年続けても、どんなに方法論を工夫しても、勝てなかった。逆襲弁護士と呼ばれるタフな河合だが、負け続ける原発訴訟にその闘志は弱まっていた。

そして、2011年3月11日。
東京電力福島第一原子力発電所で
原子力発電史上最悪の事故が起きた。
河合は決心した。「絶対にあきらめない」。

これは、弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘う木村結の3人が、多くの関係者、有識者にインタビュー取材を行い、現地での情報収集や報道資料等を基に、事故に巻き込まれた人々の苦しみ、原発事故を引き起こした背景、改善されない規制基準、エネルギー政策のウソと真実を追求したドキュメンタリーである。

「裁判はたったひとりでも正義をかけて闘える民主主義社会の安全弁みたいなものだ。だから、僕はひとりでも闘う。でも、それだけじゃ、みんなに伝わらない。ひとりでも多くの人に真実を伝えるには、やはり、映画しかない」(河合弘之)。



■詳しくはwebで <http://www.nihontogenpatsu.com>

2015年7月4日(土)～7月10日(金)

フォーラム八戸

前売券：800円

(フォーラム八戸、八戸市内のプレイガイドで販売しています。)

(当日券は、フォーラム八戸の鑑賞料金になります。)

上映時間はフォーラム八戸のホームページか、ご鑑賞当日のデーリー東北紙の映画案内欄にてご確認ください。

主催:核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団(0178-47-2321)

会場：フォーラム八戸（TEL：0178-71-1555）

※ 受付の際、駐車券をご提示ください

